

桜まつり & ミニ防災訓練

3/29(土) (雨天順延 3/30)

会場 緑ヶ丘小学校校庭

開場 10:30

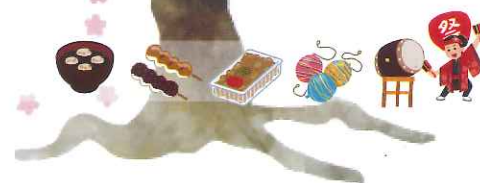
開始 10:45(出店 11:00~)

各自治会や団体が、おでん、焼きそば、わたあめ、射的などの出店を。地域のサークルが和太鼓やダンスなど日頃の成果を披露してくれます。大人も子どもも一緒に楽しめる桜まつりは、毎年来場者数が増え続けています。地域の風物詩となるよう、今年はみなさんにくつろいでいただけるように会場を広げます。春の日差しと地域の暖かさを感じる一日をお楽しみください。

ミニ防災訓練同時開催!

今年度は衆議院選挙当日に重なり、防災訓練は中止となりましたが、訓練の一部を校庭の西側で行うことに!お祭りを行う意味は防災にあるといわれます。桜まつりとコラボした防災訓練をぜひご体験ください。

参加賞 防災グッズ 数に限りがありますのでご注意ください。



表紙に向けて

調布市からみんなの森の保全管理計画が実施され、今年度で3年が過ぎました。環境調査も終わり、この4月には地域住民の方たちによるボランティア団体「みんなの森の会」が発足し、月に1度樹木調査や草刈りなどの作業がなされています。冬は「落ち葉溜め」に落ち葉を集め腐葉土を作り、森に放ちます。栄養豊かな土が森を育み、将来にわたり、人の心を和ませる「みんなの森」になるのです。

驚いたのは今から34年前に描かれた中川平一さんの「みんなの森公園」は、落ち葉が敷き詰められた、生命力に溢れた森の姿だったことです。木の葉の下で虫や木の実がうっとりとして眠っていて、春を待っている…そんな風に感じられました。

みんなの森の会は毎月第一日曜日の午前中に活動しています。

お手伝いできる方は直接作業にご参加ください。

かつての里山を取り戻しましょう。



カブトムシの幼虫
12月1日みんなの森
落ち葉溜めの中で発見。
再び帰しておきました。

緑ヶ丘
仙川

まちづくり通信

2025.1
62号



「みんなの森公園」 1990年 中川平一 作

みんなの森公園 - 中川平一風景画選集より -

調布市緑ヶ丘「みんなの森公園」には、なだらかな丘陵に檜、樺、えご等の落葉高木が自然のままに生い茂っている。木立の間を小道が縦横に走り、散策や犬の散歩に訪れる人が多い。私は、ここの落葉の美しさに目を引かれスケッチに通い始めたが、ある日、一陣の風と共にバラバラと団栗が降ってきた。思いがけない体験であったが、全身震のように木の葉を浴びるのは痛快なことでもあった。冬が来てくると、木の葉は風がなくともカサカサと散り急ぐようになった。近くに住む植木職、田中次郎さんのお話では、この近辺が以前の下山川で、駅の方角から見た場合、田圃を超えた小高い山なので「向い山」とも呼ばれたそうだ。

山に分け入って薪にする小枝を集めたこともある。6月になると降るような蝉時雨が聞こえ始め、近くの清水には蜉蝣が群れて飛んだ。泥鰌や芹を取った田圃が団地に造成されて、辺りの風景が大きく様変わりしたという。いまから30年ほど前の、貴重な思い出話である。

～調布を描いて55年～

中川平一さんをご紹介します。

1945年6歳の時調布に転居。調布市の小学校に勤務しながら、失われつつある調布の民家や木立などの自然を愛惜し、その風景を描き続けました。1965年から個展を中心に作品を発表し、2014年たづくりにて「中川平一風景画展調布を描いて50年」開催。現在は171点の作品が調布市郷土博物館に寄贈されています。

中川平一さん
Official Web Site



2024 年度活動報告（4 月～12 月）

5 月



仙川鯉のぼり流し(宅添橋周辺) ゴールデンウィーク中に開催

7/22
防犯パワーアップ教室
安全対策分科会



市民防犯インストラクターの武田信彦氏による子どものための防犯教室です。声や体を使って「自分をまもる力」を教えてください。本当の「防犯ブザーの使い方」知っていますか？武田先生オリジナルの「逃げるワザ」を教えてくださいました！

*一般的にブザーは鳴らしたら自分から離れたところに投げる。犯人はブザーを止めるに行くのでその間に逃げる!! です。



11/24 チューリップで卒・入学式を華やかに！
環境対策分科会



緑ヶ丘小学校では子どもたちと一緒に南門の花壇に球根を植え、第八中学校では園芸部のみなさんに託しました。花の咲くのが楽しみです。



6 月



6/15 緑ヶ丘コンサート
文化交流分科会



桐朋学園大学 OB によるピアノ、ヴァイオリン&ヴィオラとフルートの三重奏。モーツァルトやドビュッシー等のクラシックから親しみのある日本の曲やディズニー曲などを演奏。3 つの楽器が奏でる心地よいハーモニーに引き込まれるようでした。次回の緑ヶ丘コンサートもお楽しみに！(2025 年 6 月開催)

11 月



11/17 環境アカデミー インセクトホテルを作ろう！

環境対策分科会

インセクトホテルとは「昆虫の棲家」のこと。竹や枯葉、小枝やどんぐりなどを詰め込んでおくと、それぞれの好みの「部屋」で冬を過ごします。3/22 にどんな虫が集まったか、参加してくれたみんなで調べてみます。インセクトホテルは自然の循環を正しく保ち、森を活性させる働きがあります。持続することが大切なのだと思います。

森で昆虫を見つけた子どもたちが嬉々として講師の石川和宏先生に見せると、どんな虫の名前も答えてくれます。子どもたちの眼差しが輝いていたのがとても印象的でした。



第八中学校の防災教育をレポート

2 年生全員で災害トイレの組み立てを体験

今年度、緑ヶ丘小学校では 4 年生を対象に、防災知識の一つとして災害用トイレの授業を行いました。第八中学校では災害時にちゃんと役立つようにと、2 年生全体で災害用トイレの組み立てを体験しました。その様子を見学させていただきました。



簡易とありながら、災害用トイレは部品が多く、細いので不安定、とても組み立てにくいものです。説明書をみながらでは、大変時間がかかります。

そこで馬場校長先生自らトイレを組み立てながら写真を撮り、説明書を作成。当日はプロジェクターに映しながら作業しました。とてもわかりやすく、メリハリのある覚えやすい内容になっていました。生徒の皆さんからは、「これで地域に役立てるかなー」と、涙ものの声も聞こえました。

災害時、トイレは 1 番に必要なものです。被災地が感染症に侵されないように、素早い対応が求められます。みなさんも防災訓練に参加して、自ら体験してみてください。